

結果のまとめ

平成24年度学校評価
『教育活動アンケート』

生 徒
保 護 者
職 員

宮城県石巻商業高等学校
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地
電話(0225)22-9188
Fax(0225)22-9189
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

アンケート調査分析結果

学校評価アンケートは、「そう思う」「大体そう思う」を肯定的な意見とし、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見として分析しました。

今年度のアンケート集計では、全ての質問項目において肯定的な意見が否定的な意見を上回りました。さらに前年度、肯定的意見が70%を超えたのが14項目中8項目だったのに対し、今年度は、「生徒にとって、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある。」を除く、全ての項目が70%を超えました。アンケート実施時期が早まったということにより前年度との比較には、若干の修正も必要ではありますが、ここ数年にない良い数値となっています。

高大接続研究事業に関しては、他の数値がすべて伸びているのに対し、唯一の減少となりました。さらに、今まで60%前後でしたが、今回は55%と低い数値になっています。中身を分析すると、例年は進路について身近に感じている3年生の肯定的割合が高く、続いて2年生、1年生の順番だったのですが、これも逆転しています。この主な原因は、現実的に家庭の経済的な事情から、震災による授業料免除制度を設けた大学へ流れたことです。しかし、この制度も今後数年のことであることと、1年生の数値が高いことから、数年の内に回復することが見込まれています。

肯定的な意見での上位については、例年と変わらず「学校として、部活動は活発に行なわれている」「生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行なわれている」でした。前年度、なぜアンケート結果が全体的に改善されたのか、特に注目した点は、「生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています」でしたが、この項目は、前年度85.9%、今年度76.9%と下がっています。これについて数値だけでとらえると、昨年度の11月までカウンセリングを受けた相談内容は「人間関係・友人関係」59件・「家族関係子供の養育」14件でしたが、今年度は、「人間関係・友人関係」17件・「家族関係子供の養育」9件と減少しています。この二つの項目に潜伏している、震災による気持ちの問題について整理ができるようになったため相談の必要性が薄れたのか、自分でも心の傷に気づいていないのかは、このアンケート結果だけでは分かりません。しかし、抑えておかなければならないのは、「心もかぜをひく」ということです。かぜで熱が出たとか、喉が痛いなどといった、表に現れる分には行動が取れるのですが、「かぜっぽい」といった自分自身でも判断できない症状を第三者が見極めて、いかに処方するかが課題となってきます。現状では、その為の判断・行動は遅く不足しています。その判断はとても難しいのですが、生徒の普段の学校生活の様子や行動をよく見て、変化を見極めていかなければなりません。そのために多くの目で、生徒一人ひとりの生活の様子を職員で共有し、情報を蓄積することが今一番大切です。阪神淡路大震災では、PTSD（心的外傷後ストレス）によるカウンセリングを受けた件数は、震災後の5年目がピークでした。今その情報を蓄え、来たる時に「どう行動（判断）できるか」が重要です。その為、普段からの何気ない生徒との会話、色々なアイディア・対処方法を共有する必要があります。また、カウンセリングの利用を、生徒にどううながしていくかも大切です。カウンセリングとは、「どのようなことしているのか」など、生徒にイメージしやすいような働きかけをし、それをバックアップする体制を整えておくことが必要です。これらの対応策として、本校では、プロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいくこととなりました。

次に、毎年本校の課題となっていた「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている」の項目は、緊急連絡メールの配信が定着したためか、肯定的な意見が51.8%から75.0%と改善しました。しかし、メールアドレスの登録が100%ではないため、完全な対策とはなっていません。保護者への登録のアプローチを考えていかなければなりません。

今年度注目すべき点は、「生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」が70.8%と、アンケートを実施してから、初めて70%を超えた点です。これは、各教科が目標を高く掲げて取り組んでいる結果だと考えられます。特に簿記分野については、難しいと言われている日本商工会議所の簿記検定試験の受験にシフトしたこと、情報処理分野については、国家試験で基本情報処理技術者試験に取り組める体制を整えたことが考えられます。ただし、取り組みだけが良くても結果が出なければ意味がありません。「結果＝自信」とつながるよう、各教科や学校全体で「目標をともなった組織づくり」が急務かと思われます。

これらのことから、今年度は、「生徒は部活動や授業を通し目標に向かって努力することによって、精神を安定させ、生活基盤である、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の重要性を意識することにより充実した学校生活が送れている」と非常に良い分析結果でしたが、このような時にこそ、本校では組織力を高め、より良いバックアップ体制を整えていく所存です。

アンケート項目別集計結果

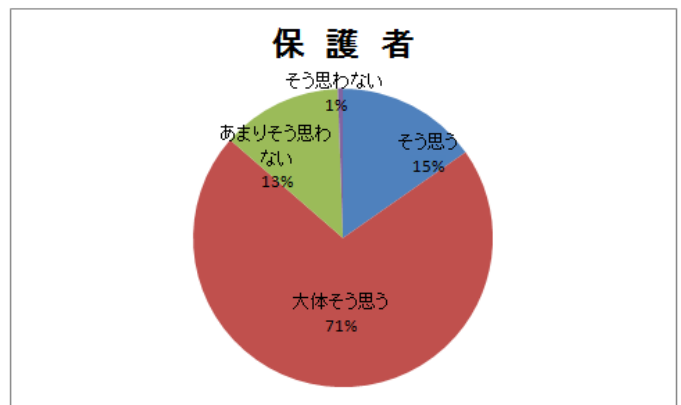
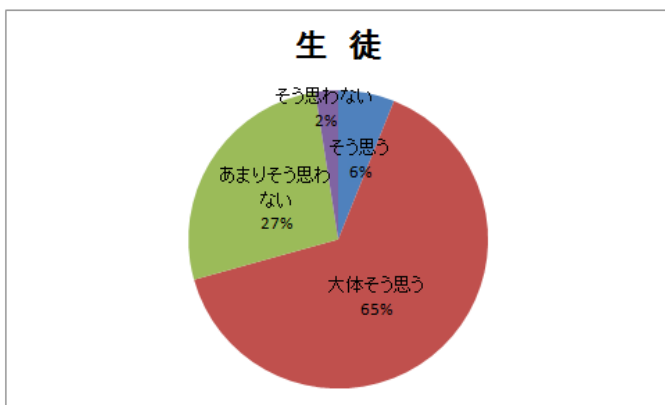
	質 問 項 目	生 徒 肯定票	保護者 肯定票	教職員 肯定票
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている	70.8%	86.4%	61.4%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている	91.4%	90.0%	86.7%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている	77.9%	83.7%	68.2%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	76.9%	83.3%	84.4%
5	学校として、部活動は活発に行なわれている	91.8%	93.9%	90.9%
6	学校として、生徒会活動は行なわれている	88.1%	93.3%	81.8%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある	79.6%	92.8%	88.9%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	78.2%	87.5%	51.5%
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	79.3%	71.1%	66.7%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	82.2%	75.0%	48.9%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	73.1%	74.1%	31.1%
12	自分にとって、学校生活は充実している	77.4%	91.7%	76.7%
13	自分にとって、朝の読書は有意義であり、得るものがあった	72.5%		77.3%
14	生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある	55.8%		47.7%

学習活動について

本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年次では一般教科と基礎・基本的な商業科目を学習します。商業科目においては二年次から実施される進路に応じた類型（コース）を選択するため、商業科目に関する基礎・基本となる学習を行っています。

「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」という質問項目では、平成19年度から、57%、67%、61%、58%、59%、今年が71%でした。

質問No.1. 学ぶ意欲を引きだし、学力を身に付けられるような授業が行われている。



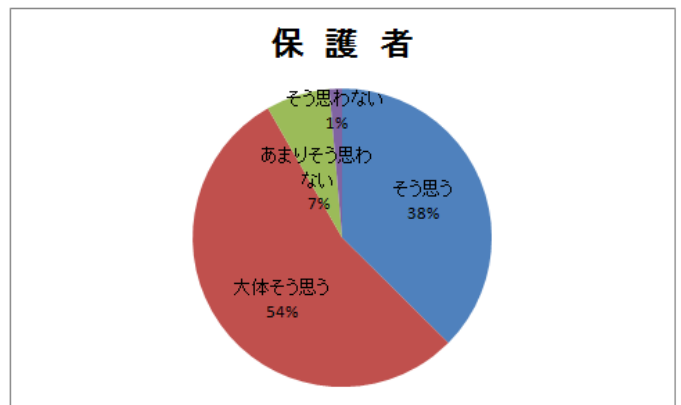
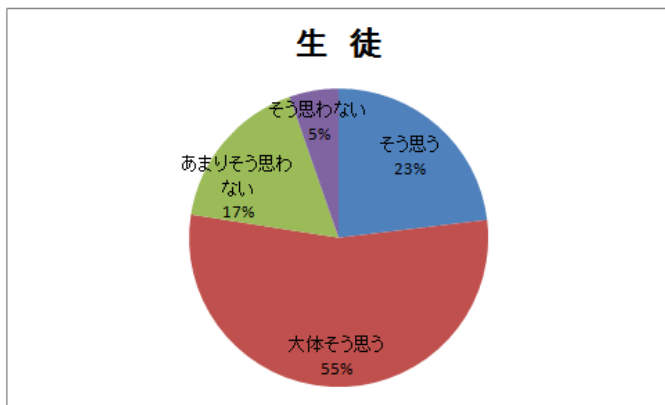
生徒指導について

生徒指導に関しては、「学校生活は充実している」という質問項目では、生徒 77%・保護者 92%と高い評価を得られています。この要因として着目した項目は次の4項目が挙げられます。

- | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|
| ○ 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている | 生徒 91% | 保護者 90% |
| ○ 生徒会活動は行なわれている。 | 生徒 88% | 保護者 93% |
| ○ 部活動は活発に行われている。 | 生徒 92% | 保護者 94% |
| ○ 有意義な学校行事がある | 生徒 80% | 保護者 93% |

これらのことから、社会生活に必要な自主・自立の精神が形成され、また学校行事などが生徒の心身の育成を支えていることが分かりました。

質問No.12. 学校生活は充実している。



進路指導について

厚生労働省の調査によると、平成 24 年 11 月末の高校生の全国就職内定率は 73.1%ですが、本校では 11 月末時点で 76.7%と全国平均を超えています。また、12 月末現在では 84.4%と伸びています。他の進路内訳としては、公務員が 2 名、四年制大学 38/50 名（国立大学 1 名）、各種専門学校 60/63 名であり、全体の進路決定率は 85.8%となっています。

質問No.3. 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

